

幕末に 世界一周 やってみた

時は幕末
安政七年一月二十六日（一八六〇年二月十六日）
天気は晴れ 気温摂氏十度
北緯三十五度五十一分二十九秒
西経百五十五度五十四分
北太平洋

アメリカの軍艦ポーハタン号の
船上に彼の姿はあった―

異国の世見に翌日乃
首途可那
（とつくにのよみにあすの
かどでかな）

構成 川合登志和
漫画 秋桜

うむ、
我ながら
いい句じゃ

下原村（現在の下呂市金山町）出身の
加藤素毛

史上初めて
俳句を詠みながら世界一周を
成し遂げた男である







早う飯の
支度をせんか!

へ…へい!



おい!そこのお前
何をしている!

ドキッ



実はわしは武士でも役人でも
ないんじや
だから船の中の身分も低い
でもどうしてもアメリカに
行きたくて
頼み込んで乗せてもらったんじや

遣米使節団は七十七人
素毛は「料理番の賄方」として
使節団の一員になった。いや
もぐりこむことに成功したので
ある



早朝から夜おそくまで働く素毛は
空いた時間に俳句や
船内の詳細な記録を書いていた

天気は…
気温は…

WC

トイレ?
便所?

気温からトイレの配置図まで
とにかく見たものはすべて
書かないと気が済まないという
「俳人」でもあり「魔人」でもあった



当時は海坊主や幽霊船を
信じている人が多く
アメリカ行きを断った
役人も多かった

しかし素毛は
長崎で外国文化に触れた経験もあり
アメリカに行きたくて
仕方なかったのである



現代で言うところの
「ツイ魔」ってやつじやな

※ツイッター魔人の略



賄い方の扱いは悪く
行きたくもない外国に
行かされる役人たちは
素毛にきつく
あたることもあった



二月十七日
ポーハタン号は北太平洋で
夜半からの暴風雨に遭遇する



おい！
我々も水夫たちを
手伝いにいくぞ！

外国方御用達
岡田平作手代 半次郎



波に持って
いかれるなよ！

おい！
小型船が壊れたぞ！

オーエス
オーエス



わ…わしも
気持ち悪いん
じゃが…

素毛も
船酔いで動けない日本人たちにおかゆを作って食べさせるしかできなかった



は…
半次郎どの
無理じゃ
日本人はこの
有様じゃ…

ええい！
だらしがない！
わし一人でも
手伝うてくる！

うう
うう
うう



この有様だと
野菜も米も痛んで
しまうのう…

なんだ！
この匂いは！



あゝあ…



※たくあん

何を積んで
いるんだ！
お前たちは！？



これでは
船中が
臭くなる！
早く捨てろ！

捨・て・ろ！

でもこれは
日本人にとって
は

へ…へ…



くっそ…
あいつらの積んでいる
豚や鶏の方が
よっぽどくさいわ！

いつもシメて
料理するのは
わしらやぞ！

Yeech!

第2話へ
つづく

次回のお話は…

